

本棚 ぶらり

読書のサイクリングへようこそ！



🚲「キアズマ」

こんどうふみえ
近藤史恵／著 新潮社

2013年



ある事件を理由に、岸田正樹^{きしだまさき}は1年という条件で大学の自転車部に強制入部させられます。ロードバイクに乗ったことすらない正樹でしたが、徐々にロードレースの魅力に惹かれていきます。ところが、中学時代の友人から届いたメールをきっかけに自転車部から距離を置くようになり、ついには退部を申し入れ、競技生活最後のレースに臨みます。大会前夜、チームメイトの櫻井^{さくらい}が背負い込んだ思いを知り、正樹が出した答えは？

近藤史恵は他にもロードレースを題材とした小説「サクリファイ」「エデン」「サヴァイヴ」「スティグマータ」を著しています。こちらもあわせてご覧ください。

🚲「50の名車とアイテムで 知る図説自転車の歴史」

トム・アンブローズ／著
甲斐理恵子^{かいらえこ}／訳 原書房

2014年



自転車が発明されたおかげで、かつては馬を所持する富裕層の特権だった遠距離移動が一般の市民にも可能になりました。その後、自転車は移動手段や大衆娯楽、スポーツ、物資の運送、軍事利用など様々な用途で使用されます。

この本は、足で蹴って進む初期の自転車から、最先端技術を駆使した現代の自転車まで、約200年の自転車の歴史を写真やイラストで解説しています。

ツール・ド・フランスの裏話や自転車選手の興味深いエピソードもお見逃しなく。

🚲「栗村修の100倍楽しむ！ サイクルロードレース 観戦術」

くりむらおさむ
栗村修／著 洋泉社 2013年



ロードレースは個人競技と団体競技の両方の面を持っています。本書は、レースとチームのカテゴリーやロードバイクなど、ロードレースの基礎知識と見どころを、豊富な写真とイラストで解説しています。

レース観戦に役立つ選手情報には、昨年^{べつぷひみゆき}のさいたまクリテリウムに参加した、別府史之選手と新城幸也^{あらしるゆきや}選手の紹介もあります。元選手で、解説者の筆者による、テレビ観戦中に「落車（寝落ち）」してしまわないコツや選手時代の苦労話などが、レース観戦をさらに楽しくしてくれます。



🚲「追い風ライダー」

よねづかずなり
米津一成／著 徳間書店
あべよしとし
安倍吉俊／イラスト

2012年



自転車事故で亡くなった夫は、ブログに走行記録をつけていた。結婚後に夫と始めたサイクリングだったが、夫は一人で走ることを好んでいた。主人公は、夫のブログに残されたコースを自分もたどってみよう、と決意する。夫と同じコースを走ることで、心の傷から立ち直っていく翻訳家の女性の姿を描いた「桜の木の下」のほか「キャットシッター」「旧友の自転車屋」など、さまざまなきっかけで自転車に乗り始めた人たちの、自転車のあるなにげない日常を書いた5つの短編物語。